

5

北北海道大会も優勝へ！

29

渡辺悠乃選手 優勝報告・北北海道大会へ

深川 J B に所属する沼田小学校 5 年生の渡辺悠乃わたなべゆのさんが、4 月に釧路市で開催された「北海道小学生バレーボールフェスティバル」と5月に当別町で行われた「第1回アルテミスカップ（小学生の部）inTOBETSU」の両大会で優勝し、「第45回全日本バレーボール小学生大会北北海道大会」の出場権を獲得したことから5月29日（木）役場を訪れました。

渡辺さんは「どちらの大会とも、1点を大切にしっかりと優勝することができました。北北海道大会でも優勝できるように頑張ります」と大会への意気込みを力強く語り、横山町長は「日頃の練習を真剣に取り組み、また優勝することができるよう頑張ってください」と激励されました。



6

あいにくの天気も、笑顔でプレー

5

第14回沼田町教育長杯争奪パークゴルフ大会

第14回教育長杯争奪パークゴルフ大会が6月5日（木）町民パークゴルフ場で開催され、留萌市や滝川市など町内外から62名の愛好家が集まり、熱戦を繰り広げました。

開会式で三浦教育長は「町内外から多くの皆様にご参加いただき、ありがとうございます。日頃の練習の成果を発揮し、優勝目指して頑張ってください」と挨拶され、参加者は、小雨が降る中でのプレーとなりましたが、親睦を深めながら、優勝を目指しました。



6

クラフトビール初披露

5

石狩沼田ブルワリー初出荷お披露目試飲会

今年4月から稼働している公設民営のクラフトビール醸造所「石狩沼田ブルワリー」でクラフトビールが完成し、6月5日（木）試飲会が行われ、初披露されました。

試飲会では、町産米を使用した「ライスエール」が振舞われ、試飲した町民は「良い香りで飲みやすいです」と話されました。

「ライスエール」は、町内の一部の飲食店とトナリ工北広島内の「沼田町 BEER KITCHEN」で販売されておりますので、是非ご賞味ください。



6

お酒を飲みながら音楽を楽しむ

11

「アイリッシュパブを語ろう」

教育委員会主催の第1回生きがい講座「アイリッシュパブを語ろう」が6月11日（水）ゆきまち会館で開催されました。

今年度から教育委員会の職員となったALTのデイビット先生を講師として、アイルランドの伝統的な酒場「アイリッシュパブ」についての紹介が行われました。アイリッシュパブではお酒を飲みながら音楽を楽しむ風習があり、デイビット先生のギターの弾き語りが披露されました。最後には、デイビット先生と参加者が一緒にアイルランドの歌を歌い、賑やかな雰囲気で大いに盛り上がりました。



6

スターリンクを活用し900キロ遠隔操縦

12

建設機械の遠隔操舵実証実験

沼田町にテストセンターを置くハイテクインター株式会社（旦尾紀人代表取締役社長）が、米宇宙企業スペースXの衛星通信網「スターリンク」を活用し、約900キロ離れた茨城県つくば市の建設機械を遠隔操縦する実験を6月12日（木）行いました。

この実験は、生産年齢人口の減少に伴い、建設現場の省人化と生産性向上を目的に、茨城県つくば市の実験用工事現場には、無人の建設機械2台が用意され、それぞれの機械に4台のカメラと2台の俯瞰カメラが設置され、テストセンターでは、画面に映し出される映像を確認しながら、コントローラーを操作して遠隔操縦が行われました。

遅延の少ない高精度な映像伝送と操作性が実証され、遠隔地からの建設機械の精密な操作が可能であることが示されました。



6

花で彩る美しいまちへ

13

グリーンルーラルめまた21

沼田町自治振興協議会（長原誠会長）が主催するグリーンルーラルめまた21が6月13日（金）、14日（土）行われました。

この事業は町の景観をより美しく彩る取組の一環として行われており、色鮮やかなマリーゴールド、ペチュニア、ベゴニアが町内会や各団体に配布され、地域の花壇や町内施設などに植えていただきました。



6

子ども達の安全・安心へ

13

夜高パトロール隊出動式

子ども達の事故や事件を未然に防ぐため、夜高パトロール隊（石田隆広総隊長）の出動式が、6月13日（金）ゆめっくる駐車場で行われました。

石田総隊長は、隊員の方々に「来年の交通事故死ゼロ5000日達成のために、大事な1年になります。町の安心・安全につながる活動をこれからも続けていきましょう」と激励されました。

また来賓として、深川警察署沼田警察庁舎のおおしませいし大島誠司所長、沼田町交通安全協会にしおまさひろの西尾昌浩会長、町教育委員会のみづらつよし三浦剛教育長が出席され、改めて交通事故防止と防犯意識を高めました。



6

トップアスリートからの直接指導

14

トップアスリートに学ぼう！ in 沼田町

奈井江開発株式会社（佐藤功代表）が主催する「トップアスリートに学ぼう！ in 沼田町」が6月14日（土）に開催され、講師として、バレーボール全日本代表のリベロとしても活躍された佐野優子さんとビーチバレー全日本代表として活躍された田中姿子さんをお招きし、北空知のバレーボール少年団に所属する小学生が参加しました。

レシーブのコツやボールを繋ぐために意識することなどを指導いただき、参加した選手たちは、充実した時間を過ごしました。



6

カフェ形式で英語に触れる

14

「イージー English」

教育委員会主催の第2回生きがい講座「イージー English」が6月14日（土）生涯学習総合センター「ゆめっくる」で開催されました。

6月11日（水）に行った「アイリッシュパブを語ろう」に引き続き、英語企画第2弾として実施され、気軽に立ち寄って話ができるカフェ形式で、ポーターディへ派遣予定の中学生も参加していました。

中学生たちは、デイビット先生や一般の参加者と英語で簡単な自己紹介を行うなど、英会話を通して交流することができました。



6

児童が協力し思いやりの心を育む

16

人権の花運動

沼田小学校（吉田純一校長）で6月16日（月）「人権の花運動」が実施されました。

この運動は、花の苗を児童が協力して育てることを通じて、協力や感謝の大切さを生きた教育として学び、情操をより豊かなものにすることを目的としており、沼田小学4年生から6年生の児童を対象に行われました。

運動には、町人権擁護委員3名が参加され、植え方について説明いただいた後、代表して渡部順子わたなべしゆんこさんは、「思いやりの心と優しい気持ちをもって、花を植えて育ててほしいです」と挨拶され、児童たちは協力し合いながら、一株ずつ丁寧に花の苗を植え付けていきました。



6

16回目の訪問へ

20

ポートハーディ訪問団結成式

平成6年から姉妹都市提携を結んでいるカナダポートハーディ地区への訪問に向け、「ポートハーディ訪問団結成式」が6月20日（金）ゆめっくろで行われました。

7月16日から24日までの日程で訪問する予定となっており、中学1年生から高校3年生までの学生12名と一般町民、通訳及び引率あわせて16名での訪問となります。

結成式で、訪問団長を務める沼田中学校の吉田久校長よしだひさしは「自分たちだけではなく、ポートハーディで受け入れてくれる方々にとってもプラスになるような、実りのある旅にしましょう」と挨拶され、団員からは「カナダと日本の文化の違いを見つけたい」など、決意を一人一人述べられました。



6

オンラインで学習機会確保へ

23

練成会グループ 連携協定締結

教育委員会は、道内で学習塾を運営する練成会グループのキョウリョク株式会社（札幌市：今村明広代表取締役社長）と、学校以外に学びの場を求める児童生徒への支援などを目的として「児童生徒の学びの保障を目指すための連携協定」を締結しました。

6月23日（月）の締結式では、今村代表取締役社長と三浦教育長が協定書に署名され、今村代表取締役社長は「子どもたちへの支援などを通じ、沼田町の教育施策に協力していきたいです」と話され、三浦教育長は「オンライン学習を活用しながら、学習から遠ざからないようにきめ細やかなサポートをしていきたいです」と応じ、連携を通じて地域教育への貢献に意欲を示しました。



6

平和な社会のために

25

社会を明るくする運動メッセージ伝達

いしはしげる
石破茂内閣総理大臣から届いた「社会を明るくする運動」のメッセージが6月25日（水）深川地区保護司会沼田支部のふじむらなおゆき
藤村直幸支部長から横山町長に伝達されました。

社会を明るくする運動は、犯罪や非行の防止と犯罪や非行をした人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない安全で安心な明るい地域社会を築くために行われているもので、今年で75回目を迎えました。

藤村支部長は伝達の際に「事件や事故、犯罪のない平和な社会のために協力お願いします」と話され、横山町長は「明るい社会になるよう協力させていただきます」と話されました。



6

雪は新しいエネルギー

26

沼田小学校利雪特別授業

「スノークールライスファクトリー」の雪冷房システムの設計・指導をいただいて以来、本町の雪利用の取組みに長年ご協力いただいている、室蘭工業大学の媚山政良名誉教授が6月26日（木）沼田小学校（吉田純一校長）6年生を対象に「雪は新しいエネルギー」と題し、利雪学習特別授業を行いました。

媚山名誉教授は特別授業で「雪エネルギーや今後の地球のエネルギー問題などについてよく考えて、新しい発見があったら是非会いに来てください」と話されました。

授業後、児童は「雪エネルギー以外のエネルギーについて知ることができて勉強になった」など感想を友人と話していました。



企業版ふるさと納税のご寄附をいただきました

企業版ふるさと納税をいただいた企業様をご紹介します。

なお、公表についてご了承をいただいた企業様のみ掲載しております。（敬称略）

会社名	所在地	寄附いただいた事業	寄附額
武ダ技建創株式会社	北海道札幌市	子育て医療費の無償化事業	100万円
令和7年度企業版ふるさと納税寄附総額			100万円